

環境負荷指標 OpenTrace の開発

2006年度未踏ソフトウェア創造事業

開発者：島地 広哲

生産物の環境負荷をボトムアップに集約し動的に計算・提示する、あたらしい環境指標の提案です。

従来の複雑で静的（ドキュメントベース）な環境指標は信頼性が高い反面、その作成には時間や金銭的に大変な負担を伴います。

OpenTraceにおいては、生産者は自分が知り得る局所的な情報を入力することでOpenTraceにコミットし、結果、膨大な集合知がもたらす様々なサービスを利用することができます。製品の環境負荷を計算するのも手軽で簡単、環境ラベル発行することも自由です。

それらはすべて、消費者により良い選択を促すための情報となり、背後にある自然とその未来を想起させる手助けとなるでしょう。

環境ラベル

計算された環境負荷の値は、製品にラベルとして貼付することができます。ラベルには、CO₂排出、水産資源利用、距離、の3種類があり、消費者は、製品同士の比較が直感的に行えるようになります。



ラベル貼付イメージ



OpenTrace に登録された情報は、自由に検索し、閲覧することができます。

多様な検索手段

自由な登録

生産者は、生産物の情報を Web サイトを通じて自由に登録することができます。仕入れ情報程度の簡単なデータの入力によって、その生産物の環境負荷を計算したり、原材料をトレースバックして、評価することが可能です。



開かれたインターフェース

外部サービスから OpenTrace のデータや機能を自由に利用できるような枠組みとして WebAPI を外部に公開しています。



利用を加速させるライセンス

生産物の売買契約に付帯させることで OpenTrace の利用を推進させ、生産者の環境に対する意志を伝播させることができるライセンスを提供しています。

<http://opentrace.org/>

